

指定管理者に係る令和5年度事業報告書及び令和6年度事業計画書について (熊谷スポーツ文化公園)

指定管理者：公益財団法人埼玉県公園緑地協会（令和元年度～令和5年度）
公益財団法人埼玉県公園緑地協会（令和6年度～令和10年度）

1 令和5年度事業報告書の概要

(1) 管理業務の実施状況

ア 選手・ファンに愛されるスポーツ文化の拠点・聖地づくりとして、プロトップスポーツチームのリーグ戦及び大規模競技大会（ラグビーリーグワン、WEリーグ（女子プロサッカー）、サッカー皇后杯、彩の国実業団駅伝）など、多くの試合・大会の円滑な開催を支援した。

イ スポーツの普及・啓発を目的として、各スポーツ（テニス・サッカー・ラグビー）の体験教室の実施や熊谷ラグビーロードフェスティバルを開催した。

ウ 身近なスポーツ活動の場として健康づくりプログラム（ウォーキング・ヨガ・太極拳等）を実施し、スポーツ活動の発表の場づくりとして「チアアップ! Dance!Dance!Dance! @熊谷」を開催した。

エ 子供向けバッテリーカー、貸自転車の貸出、ケータリングカーの出店など公園利用者の多様なニーズに応え、利用者サービスの充実・向上を図った。

オ 公園の景観づくりとして、セラピーガーデンにおいてネモフィラ、ひまわりの花壇整備を行った。

(2) 施設の利用状況

施設名	R1	R2	R3	R4	R5
体育館	98,136人	28,943人	59,801人	96,679人	118,488人
陸上競技場	466,054人	183,255人	207,373人	193,966人	265,383人
屋内運動施設(ドーム)	250,318人	57,161人	103,075人	129,713人	163,173人
ラグビー場	310,605人	38,741人	92,581人	190,995人	219,926人
ソフトボール場	7,639人	4,945人	7,144人	8,223人	7,583人
グラウンドゴルフ場	1,657人	418人	1,236人	1,023人	1,078人

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止による休止期間

体育館、屋内運動施設(ドーム)：令和2年4月1日～6月30日

陸上競技場、ラグビー場、ソフトボール場、グラウンドゴルフ場：令和2年4月8日～6月15日

(3) 収支状況

(単位：千円)

項目	決算額 a	予算額 b	決算額と予算額の比較		備考
			差額 c=a-b	差額の発生理由	
指定管理料	581,023	590,738	△9,715	エネルギー価格高騰に伴い増額対応した指定管理料の精算による減	
利用料金収入	120,548	116,345	4,203	新型コロナウイルス感染拡大防止対策緩和による利用の増による増	
その他収入	49,460	52,122	△2,662	委託売店事業収入減による減	
収入合計	751,031	759,205	△8,174		
人件費	116,124	131,985	△15,861	人員体制見直しによる減	
事業費	615,158	627,220	△12,062	光熱水費の価格が見込程高騰しなかった等による減	
支出合計	731,282	759,205	△27,923		
収支差額	19,749	0	19,749		

[参考] 指定期間における収支決算額の推移 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入	690,761	603,767	667,444	709,399
支出	659,850	604,392	632,162	683,093
収支差額	30,911	△625	35,282	26,306

2 令和6年度事業計画書の概要

(1) 基本的な考え方

- ア あらゆるスポーツの愛好者、多様なレベルの競技者など、誰もが快適に利用できる高水準の競技環境を提供するとともに、公園にあるスポーツ施設ならではの観戦体験・応援の楽しさを提案し、次も利用したいと感じてもらえる拠点づくりに取り組む。また、充実したスポーツ・健康づくりを始める機会を創出する。
- イ 快適で緑豊かな自然や季節の移ろいを感じられる空間を整え、そうした公園資源を活かしたレクリエーションプログラムを提供する。また、公園の魅力を見える化し、発信する。
- ウ 「スポ文講座」をはじめとする熊谷スポーツ文化公園ならではの文化に触れ楽しむ機会を提供する。また、公園を拠点として、熊谷周辺地域が活性化する取り組みを展開し、地域の方々が活躍する場や機会を創出する。
- エ 施設の安全点検や危機管理体制を強化し、防犯に配慮した公園づくりを進め、利用者の安全・安心を確保するとともに、快適に利用できる環境を構築する。また、公園の魅力向上のために、利用者目線に配慮した管理運営に努める。

(2) 事業計画

- ア ラグビーリーグワンやWEリーグ（女子プロサッカー）、東日本実業団陸上競技選手権大会といったプロトップスポーツチームのリーグ戦や大規模競技大会に加え、eスポーツやアーバンスポーツなど、新たなスポーツの利用促進・誘致を行い、多彩なスポーツ観戦体験を提供する。
- イ セラピーガーデン等に季節の花を植栽して公園のさらなる魅力向上に資する景観づくりを演出する。花を巡る散策コースを園内に設置検討・準備を行う。
- ウ 「スポ文講座」やラグビー場スタジアムツアーなどを実施し、様々な文化活動に触れる・体験する機会を提供する。県北地域の農産物を販売する熊スポマルシェを開催する。
- エ 他公園の危機管理情報やお客様からの要望などについての情報共有を密に行い、トラブルに適切に対応するとともに、利用者のニーズを把握し公園運営に速やかに反映させるため、組織体制の強化を図る。

(3) 収支予算書

(単位：千円、%)

項目	当年度予算額 a	前年度予算額 b	増減額 c=a-b	増減率(%) c/b*100	備考
指定管理料	576,088	590,738	△14,650	△2.5	エネルギー価格高騰による影響額の減少による減
利用料金収入	102,914	116,345	△13,431	△11.5	くまがやドーム工事に伴う営業休止のため減
その他収入	49,226	52,122	△2,896	△5.6	
収入合計	728,228	759,205	△30,977	△4.1	
人件費	118,631	131,985	△13,354	△10.1	人員体制見直しによる減
事業費	609,597	627,220	△17,623	△2.8	
支出合計	728,228	759,205	△30,977	△4.1	
収支差額	0	0	0		

(4) 執行体制【25名】

- 総括責任者（所長）（1）〈公園運営を主管する。〉
 - 企画運営課（14）〈事業の企画運営や許可事務等を行う。〉
 - 施設管理課（10）〈施設管理業務を行う〉

(参 考)

○公園の概要

埼玉県を代表するスポーツ施設公園として、くまがやドーム、陸上競技場、ラグビー場などを設置している。（供用面積88.3ha）

○開設年月日 平成3年4月1日